

会津若松市 地域公共ネットワーク基盤構築事業

会津若松市・公立大学法人会津大学(事業主体)

再委託先 アクセンチュア(株)、(株)シンク、富士通(株)

平成26年6月9日

目次

- 1 会津若松市の地勢と問題意識
- 2 ICT街づくり戦略「スマートシティ会津若松」概要
- 3 ICT街づくり事業以外の取組紹介
 - エネルギー分野の取組
 - ✓木質バイオマス発電
 - ✓HEMS導入効果
 - ✓通信インターフェース標準化
 - 健康・福祉分野の取組
 - ✓市民自身による健康情報のコントロールと健康管理
 - ✓情報基盤（案）
- 4 本事業の位置づけ
- 5 実施目的
- 6 事業コンセプト
- 7 本事業の概要
 - 事業概要
 - デモンストレーション
 - データを分析して得た示唆（例）
 - アナリティクス人材育成
- 8 まとめ

1 会津若松市の地勢と問題意識

会津若松市の地勢

会津若松市

人口
12万2893人

世帯数
4万8111世帯

面積
約383 k m²
(東西約19km,南北約28km)

人口集中地区
69.7%の市民が
4.4%の市中心部に
集中

高齢化率
約27%

会津圏

人口
約29万人

世帯数
約10万世帯

面積
約5420 k m²

人口集中地区
34.4%の住民が
2.3%の地区に
集中

高齢化率
約31%

会津若松市の問題意識・課題

核家族化の進行や生活習慣の
多様化等による地域のきずなが希薄化

第2次産業（半導体工場等）が
支えてきた地域経済が衰退

行政サービスの利便性向上、
かつ、効率性向上

災害に強く、
長期的に持続可能な街づくり

+

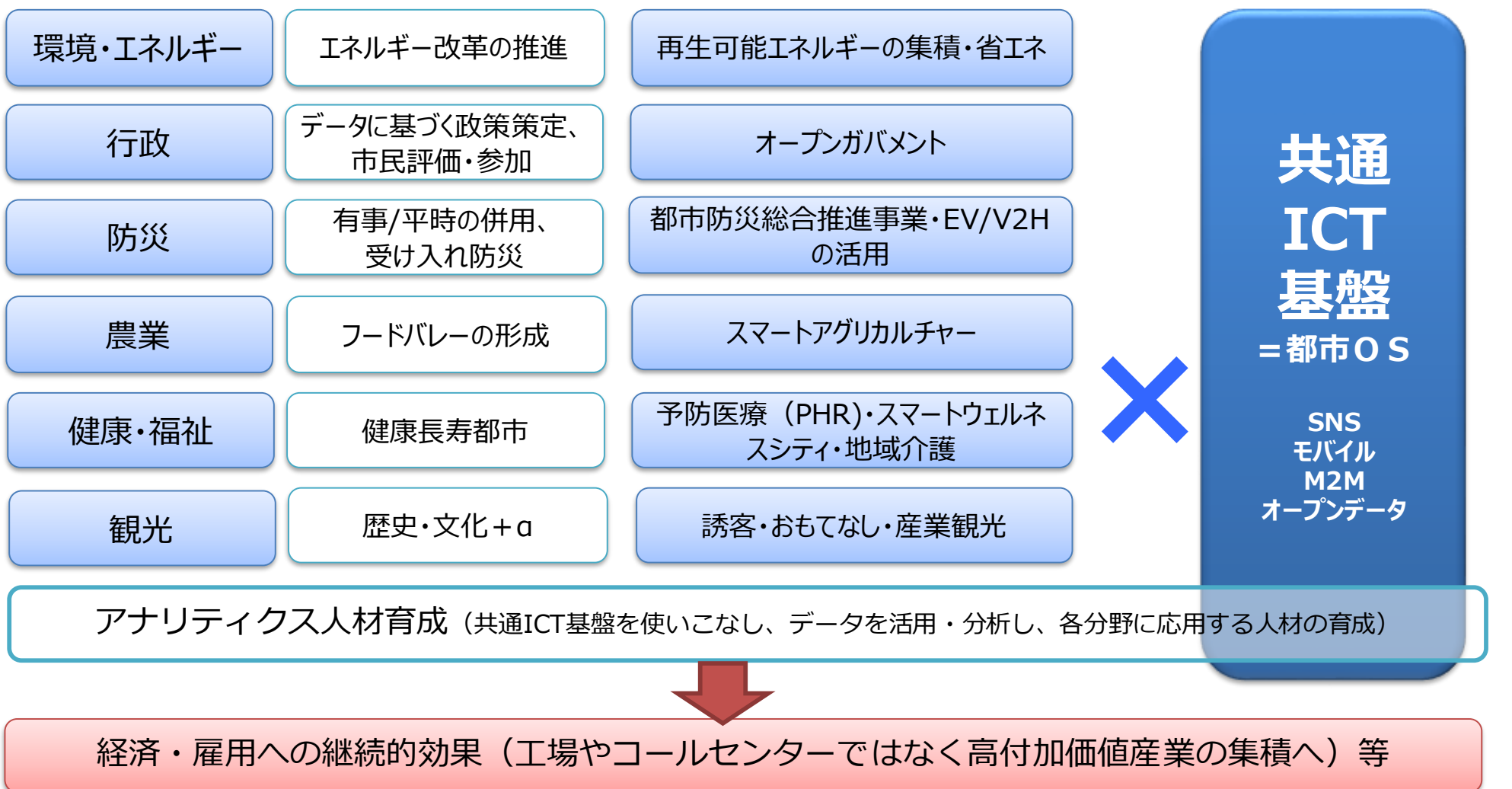
東日本大震災からの復興
特に、
被害が比較的少ないからこそ
福島県全体の復興を牽引していきたい

2 ICT街づくり戦略「スマートシティ会津若松」概要

- 将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会、市民が安心して快適に生活できる街、「スマートシティ会津若松」の実現

スマートシティ会津若松 基本戦略

施策（実施プロジェクト）

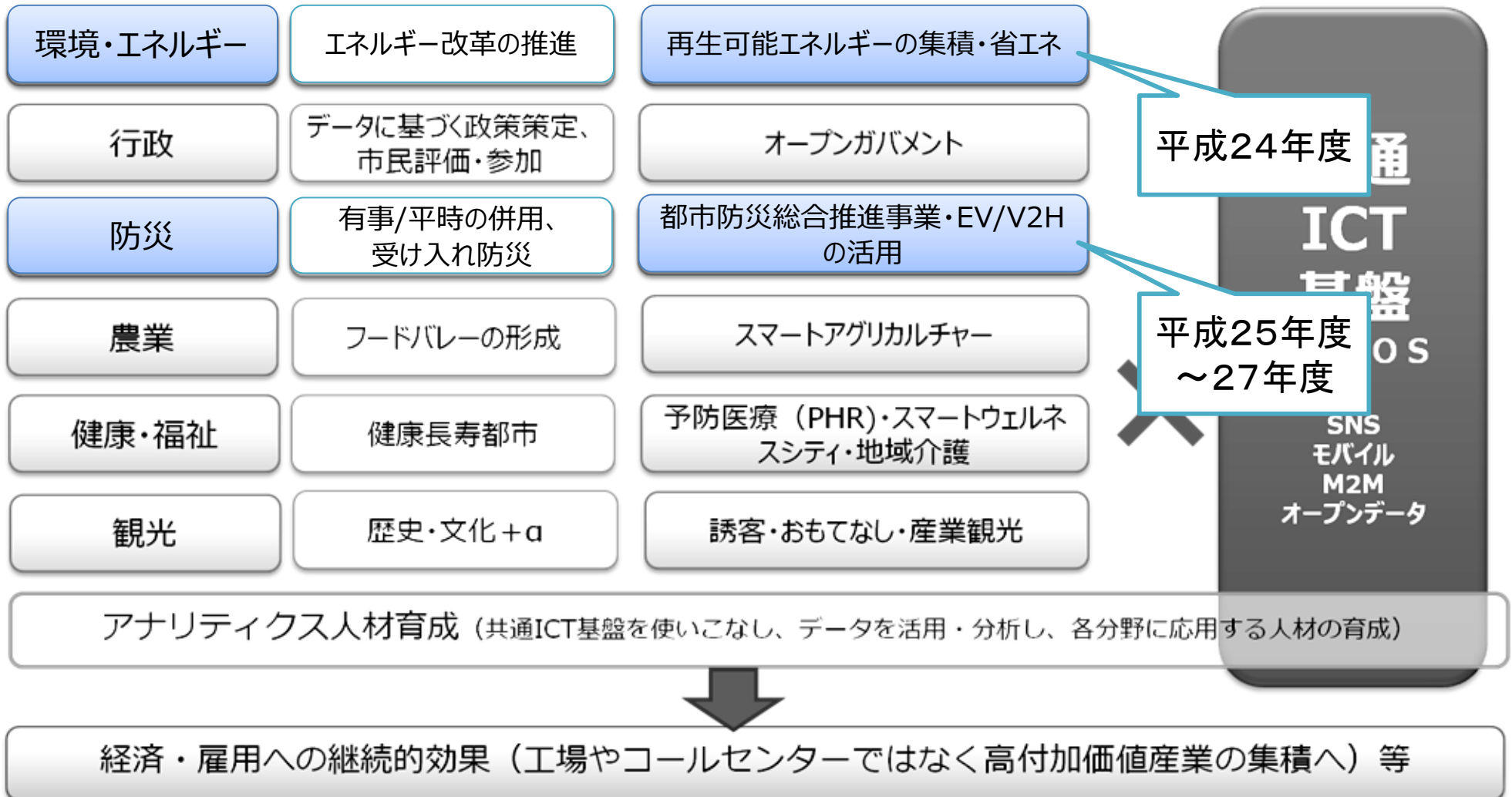


3-1 エネルギー分野の取組(1)

- 将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会、市民が安心して快適に生活できる街、「スマートシティ会津若松」の実現

スマートシティ会津若松 基本戦略

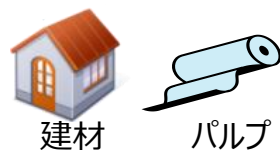
施策（実施プロジェクト）



3-1 エネルギー分野の取組(2)

再生可能エネルギー・木質バイオマス発電による山林・林業再生

(平成25年度、経済産業省資源エネルギー大賞受賞)



建材

パルプ

高品質木材を選別して
供給することで価格アップが
可能

燃料（木材）の「地産」
⇒山林の再生、林業雇用増加

エネルギーの「地産」
⇒山林未利用材を資源に転換

グリーン発電会津
5000kW



50%

A材

B材

チップ化 50%

C材

D材

集中土場

30~50km圏内の山林

林野庁
福島県
市町村

森林整備
(間伐等)に
係る補助金

年間6万トンの
山林未利用材の需要創出
⇒森林整備（間伐）の促進

電力販売

CO₂吸収

CO₂

CO₂

電力の「地消」
⇒スマートシティのモデル地域



公共施設



観光施設



温泉街

地域内施設

実現したこと

1. 再生可能エネルギー
2. 同時に林業再生（雇用回復）
3. カーボンオフセット
4. エネルギーの地産地消
5. 福島県浜通りの除染対象地域への貢献

3-1 エネルギー分野の取組(3)

市内100世帯での実証状況

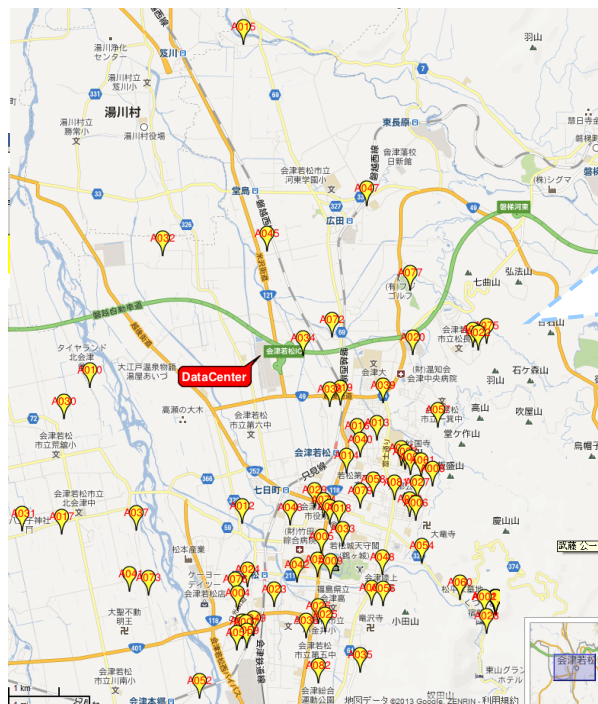
2013年3月11日よりサービス開始。

最大で27%の削減効果 (2013/9/20)

電力消費測定装置 (HEMS) 設置状況
(電力消費測定装置(HEMS)の設置箇所、及びデータセンターの位置)

機器設置概要

多種多様な I C T 端末による
「見える化サービス」
(時間別・日別の消費電力量画面等)
※レスポンスWebデザインに対応



□ 会津若松市内100世帯に電力消費測定装置 (HEMS) の設置



: 電力消費測定装置 (HEMS) の設置箇所

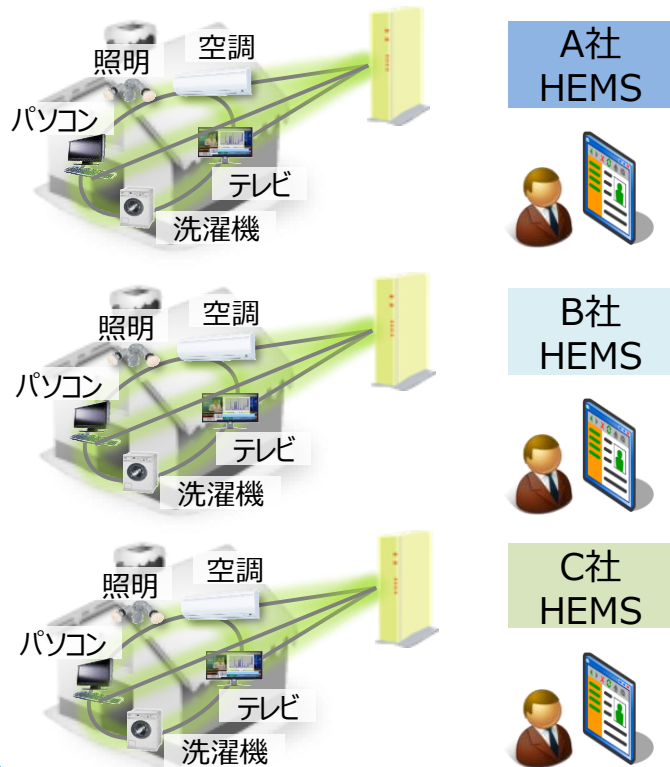
3-1 エネルギー分野の取組(4)

エネルギーを地域主導でマネージメントするための標準化の実現

(HEMSとCloudのI/Fを標準化)

実証フィールド：福島県会津若松市

地域住民



企業主導の
エネルギーマネージメント

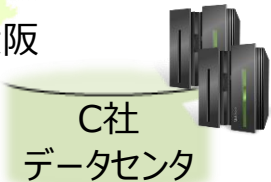
北海道



東京



大阪



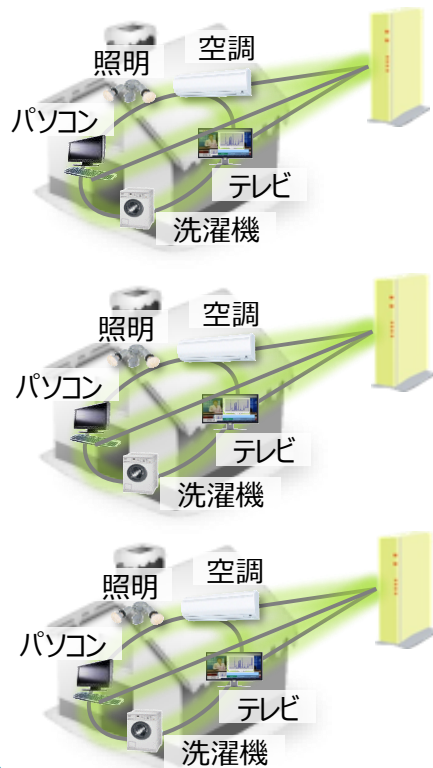
3-1 エネルギー分野の取組(4)

エネルギーを地域主導でマネージメントするための標準化の実現

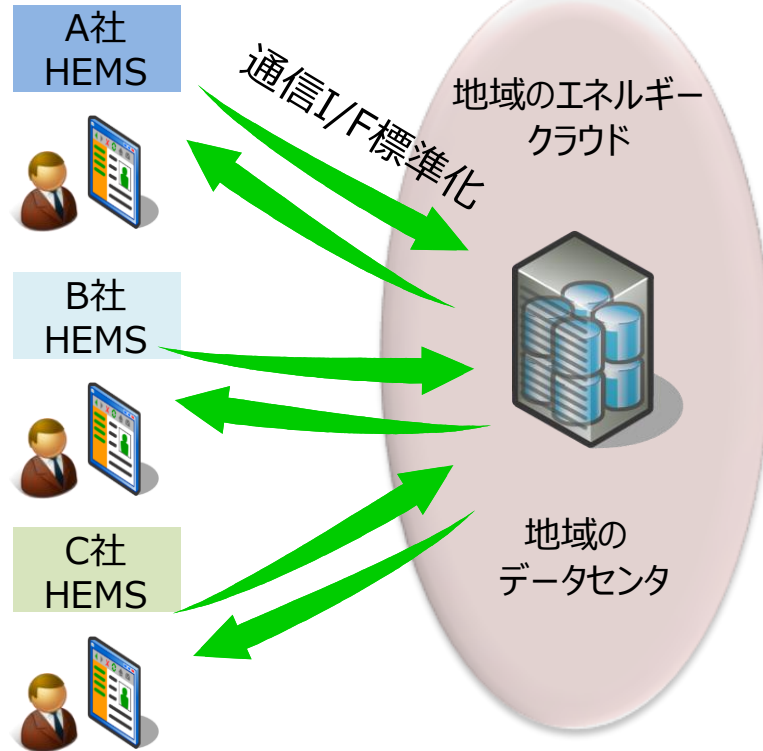
(HEMSとCloudのI/Fを標準化)

実証フィールド：福島県会津若松市

地域住民



地域主導の
エネルギー・マネージメント



個別I/F開発

北海道



東京



大阪

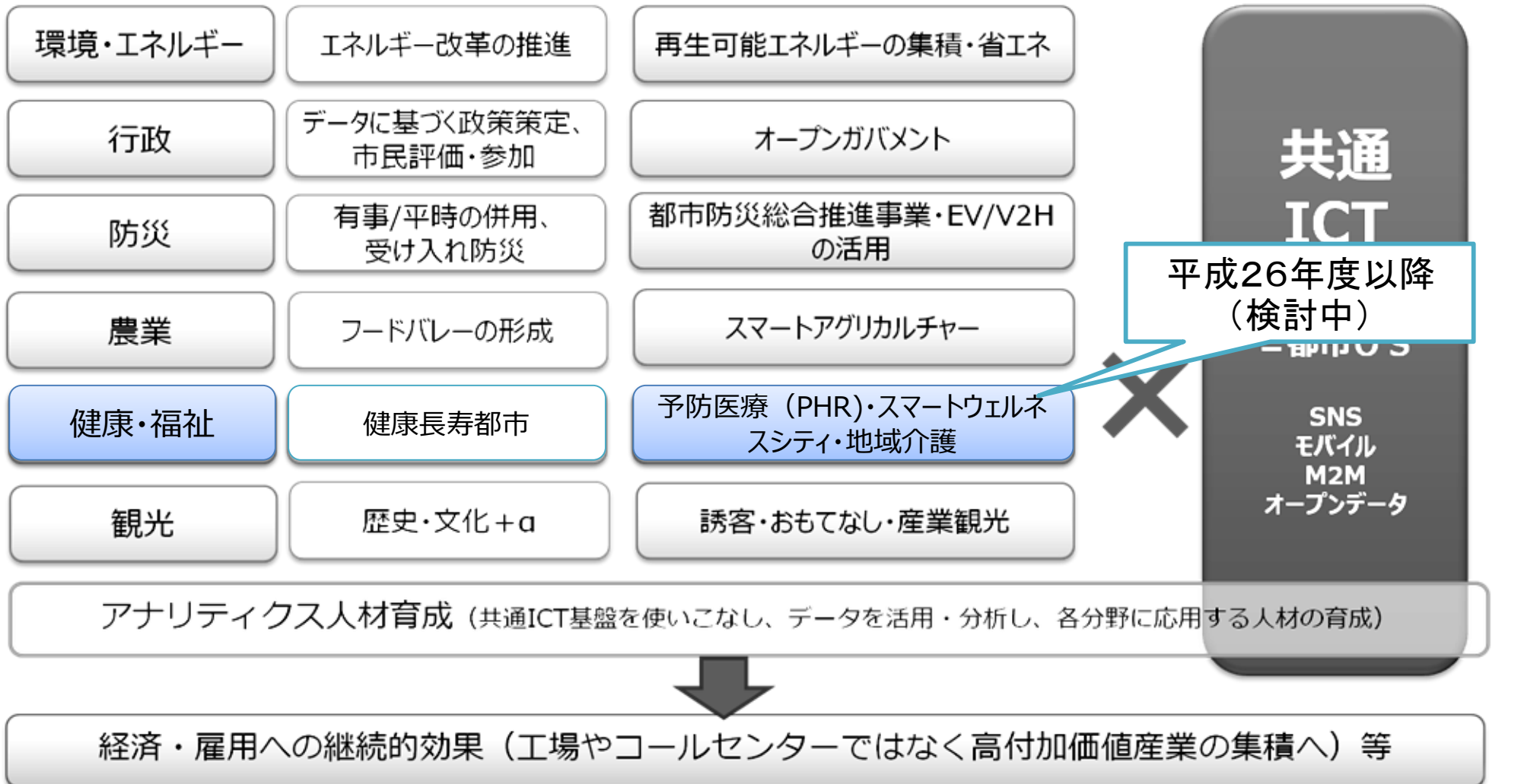


3-2 健康・福祉分野の取組(1)

- 将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会、市民が安心して快適に生活できる街、「スマートシティ会津若松」の実現

スマートシティ会津若松 基本戦略

施策（実施プロジェクト）



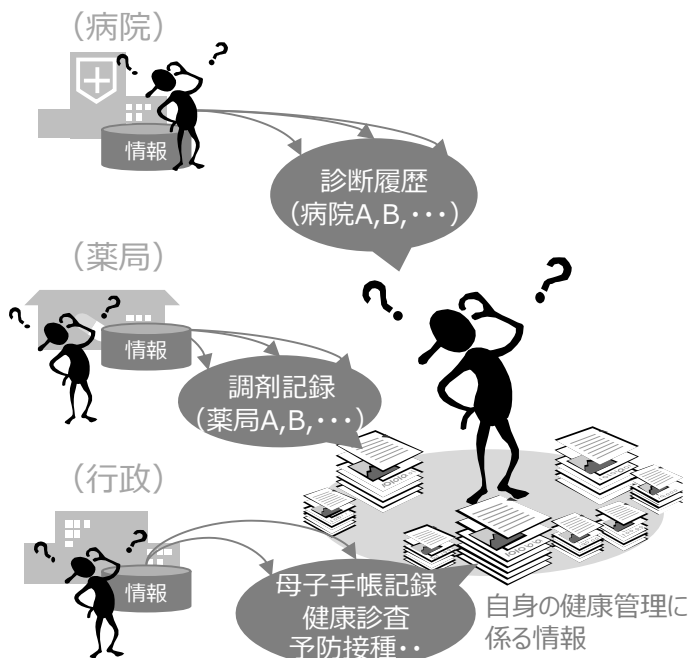
3-2 健康・福祉分野の取組(案)(2)

健康福祉・予防医療（PHR）

- 現状、医療機関および市役所で個別管理されていた関連データを、「市民自身の情報としてまとめ、自身の手元に取り戻し」、「これら健康情報を自身の人生（ライフ）に役立てていただく」ことで自主的な健康管理を支援する仕組みを実現

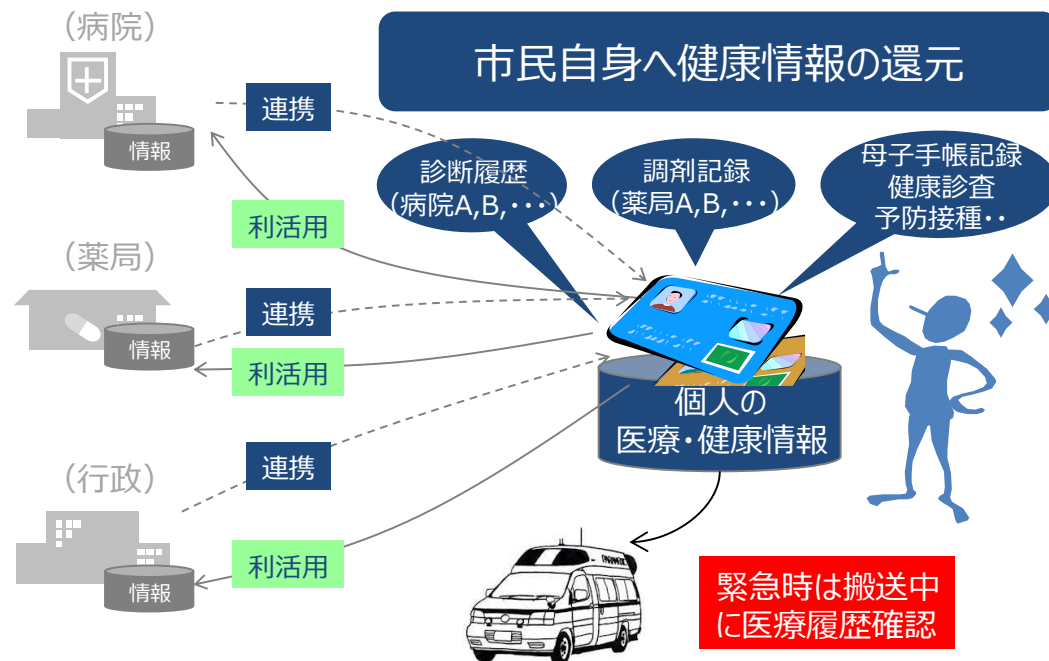
現状の課題に対する認識

- 医、薬、行政に情報が点在
- 医療機関から受領した紙媒体により、自身の健康情報の管理・把握（連携されていない）



市民中心の新しい健康保護モデルの実現

- ICTによる情報の一元管理：点在している健康管理情報を個人へ還元
- ICカードによる健康情報連携：ICカードを介した情報連携により、各所の健康情報を、自身の健康保護を支援する情報として利活用（見える化・分析）



3-2 健康・福祉分野の取組(案)(2)

ヘルスケアプロジェクト実現に向けた情報基盤

- 「個」を軸にあらゆる健康情報を集約・活用して、市民の健康意識を醸成するとともに、医療機関や薬局にも開放することで、コミュニティケアを実現

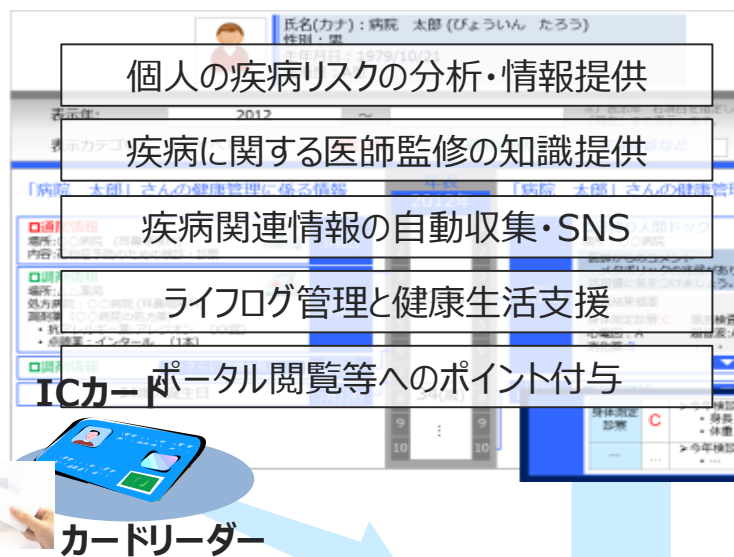


会津若松市民

各機関に散らばる自身の健康情報を活用した健康への自助意識の醸成

健康情報を医師・薬剤師・保健師が活用し、コミュニティケアで疾病を予防

市民健康ポータル



医師用ポータル

薬局用ポータル

保険者用ポータル

介護用ポータル

アナリティクスセンター

疾病リスクアラートと
診療判断支援



医療機関

検査値・病名等の
通知・服薬指導支援



薬局

疾病リスク・重篤化
予防対象の抽出



保険者・行政

介護時の服薬
情報活用・更新



介護施設

個を軸に集積された医療・健康情報基盤

レセ・健診データ

検査情報等

ライフログ情報

調剤・調剤情報

母子保健情報

・・・等

4 本事業(会津若松市におけるICT街づくり事業)の位置づけ

- 将来に向けて持続力と回復力のある力強い地域社会、市民が安心して快適に生活できる街、「スマートシティ会津若松」の実現

スマートシティ会津若松 基本戦略

環境・エネルギー

エネルギー改革の推進

行政

データに基づく政策策定、
市民評価・参加

防災

有事/平時の併用、
受け入れ防災

農業

フードバレーの形成

健康・福祉

健康長寿都市

観光

歴史・文化 + α

施策(実施プロジェクト)

再生可能エネルギーの集積・省エネ

オープンガバメント

都市防災総合推進事業・EV/V2H
の活用

スマートアグリカルチャー

予防医療(PHR)・スマートウェルネ
スシティ・地域介護

誘客・おもてなし・産業観光

共通
ICT
基盤
= 都市OS

SNS
モバイル
M2M
オープンデータ



アナリティクス人材育成(共通ICT基盤を使いこなし、データを活用・分析し、各分野に応用する人材の育成)



経済・雇用への継続的効果(工場やコールセンターではなく高付加価値産業の集積へ)等

5 実施目的

ICTを活用した地域の復興と便利で豊かなまちづくりとして、市の政策であるスマートシティの実現に向けて、本事業を計画的に推進する。

会津若松市の特長①：IT教育の力

□ ITに特化した会津大学の存在

- 国内屈指のIT教育・研究機関、日本最大のコンピュータ専門大学
- 日本のシリコンバレーを目指し、ITベンチャー育成に注力
- 外国人講師、英語による授業、グローバルとのネットワーク、教員の4割を海外から招聘
- 多種多量なデータを利活用するアナリティクス分野の人材育成を推進

会津若松市の特長②：ICTサービス産業のまち

□ ICT系ベンチャー企業の存在

- ICT関連の企業数：25社、ICT関連就労者：300人以上
- 会津大学からのIT人材供給、先進的ICT技術の研究開発

□ ICTに関心の高い市民

- 電力見える化サービスといった市民参加型のプロジェクトも実施されており、市民100世帯が参加している。

会津若松市のスマートシティ実現に向けた I C Tを活用した街づくり

I C Tの利活用によって

市民参加型社会の創生

- 市民ニーズの状況や地域全体として抱える課題に対して柔軟に対応・解決できる市民サービスの充実と向上を実現
- 行政と市民、産官学とが協働しながら、地域産業振興に係る新たなビジネスや価値の創出を実現
- いかなる有事においても、持続可能な地域・社会を目指した社会インフラ・通信環境の整備

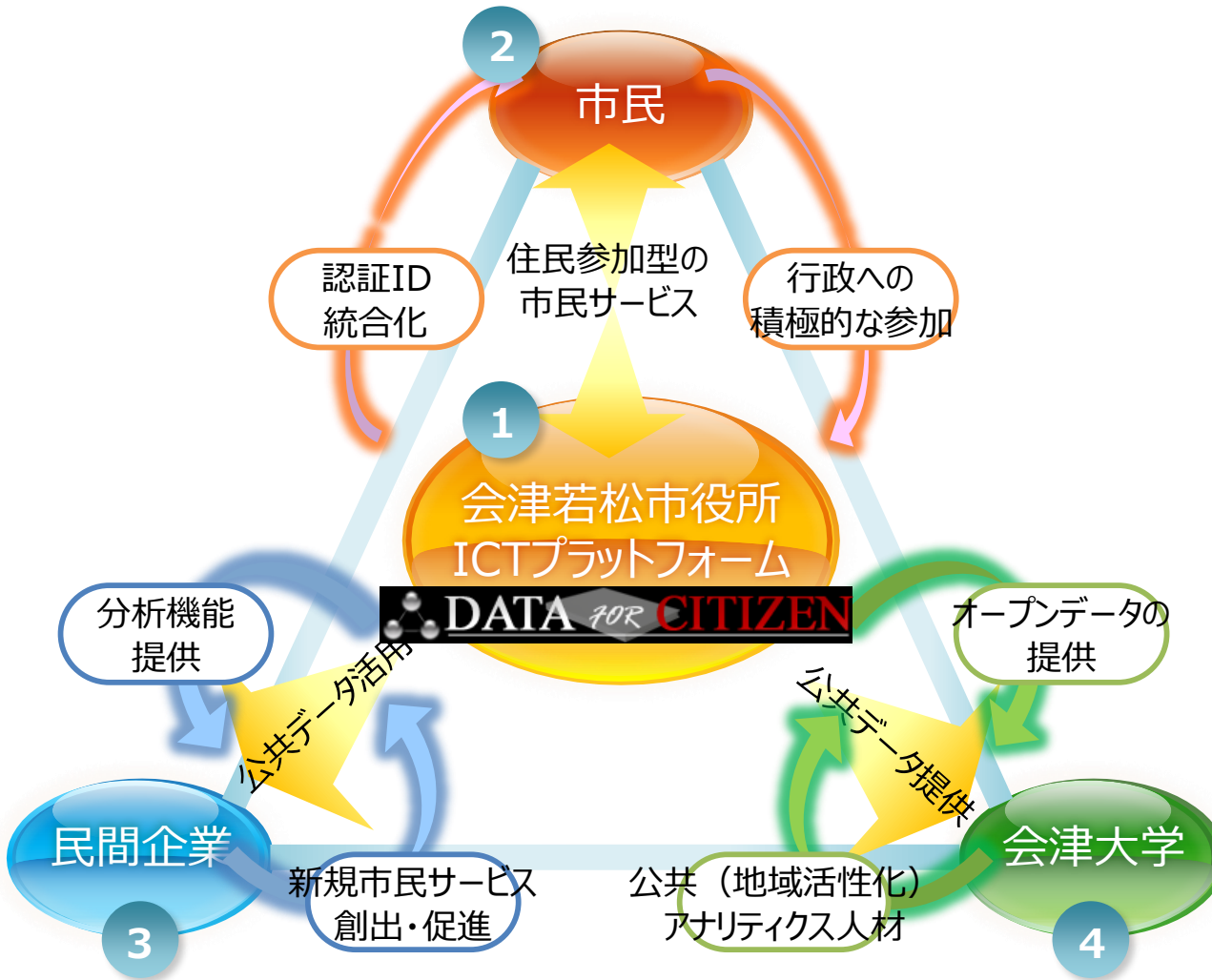
オープンデータの推進

- 行政の透明性を高め、政策立案過程において市民の参画を促し、官官・官民の連携によって行政の効率性を改善するオープンデータの推進と加速化
- インターネットを活用し、行政機関が保有する公共データをオープン化し、市民や民間による二次活用によって、新産業・新事業を創出

6 事業コンセプト

IT専門校である会津大学、25社の地元IT企業の存在といった会津若松市特有の素地を活かし、市民、民間企業、及び学術機関（会津大学）が双方にコミュニケーションが可能となり、地域が活性化されるためのハブ（媒体）となるICTプラットフォーム（Data For Citizen）の構築・実現を本事業のコンセプトとした。

本事業実現に向けたコンセプト



1 産学官の円滑な協働

- 市民、産学官をつなぐハブとしての役割を果たし、会津大学、民間企業に対し行政の各種データを提供し、市民便益の高い行政／市民サービスを提供する

2 行政への積極的な参加

- 自治体が展開する政策・事業に対し、オープンデータという客観的な事実に基づいて、自分の住む地域の行政をウォッチし、意見し、参加する

3 新たな収益モデル、産業創出

- 行政データを活用し、産学官のシナジーによる新たな収益モデル、新規産業の立上げを促進させる

4 新たな教育・人材の育成

- 行政データをもとに、政策提言、地域活性化を支えるアナリティクス人材の育成を実施し、次世代の人材を輩出する

7-1 本事業の概要（6つの具体施策）

本事業を実現するコンセプトに沿って、“ICTサービス・プラットフォーム”、“SDN技術を活用した災害に強い行政ネットワーク”、“市民サービスのID統合”、“ビッグデータ(交通情報)収集の実証”、“公共アナリティクス人材の育成”、“新規産業振興の促進”の6つの施策を実証した。

ICTサービス・プラットフォームの構築

- 会津若松市内のICT産業、情報産業や他産業によるビッグデータ活用を促進する“ICTサービス・プラットフォーム(Data For Citizen)”を構築

ICTサービス・プラットフォーム

新規産業振興の促進

- 会津若松市を拠点とするICTベンチャーに対して、アナリティクス分野のスキル習熟度向上を実現するために、公共データを活用した分析テンプレートサンプルと、分析用ソフト“R”とそのマニュアルを提供

公共アナリティクス人材の育成

- 公共データを活用して政策提言出来る公共アナリティクス人材の育成・輩出を実現するために、ICTサービス・プラットフォームに蓄積される公共データを会津大学のアナリティクス講座に提供

会津大学

地点A

地点B

ビッグデータ（交通情報）収集の実証

- 市役所保有の公用車5台に対して、スマホ端末によるGPS位置情報、及び加速度情報を計測し、道路劣化による凹凸を検知・評価
- 計測データをオープンデータとして公開し、民間業者、及び大学でのアナリティクスに活用

市民サービスのID統合

- 会津若松市が市民に対して提供している、既存サービスの地域SNS“あいべあ”、“電力見える化サービス”等の利活用を目的として、地域SNS“あいべあ”に構築予定の共通認証機能を本事業にて構築するICTサービス・プラットフォームに連携

共通ID機能
(OpenID Connect)

DATA FOR CITIZEN
OUR PARTICIPATION AGE

仮想NW（災害時）

仮想NW（平常時）

切替

SDN技術を活用した災害に強い行政ネットワーク

- 会津若松市の行政・市民サービスが災害発生時においても、継続可能な様に、SDN対応ルータを導入し、ネットワーク経路を切り替えても、行政・市民サービスを継続できることを検証

7-2 デモ(D4Cによるデータの表示・APIを利用した出力等)

会津若松市ごみステーション・集積所位置情報

- ・CSV, MS Excel, PDF, ODF, XHTML形式でデータの出力が可能
- ・さらに、API経由で機械可読な形式でデータ取得も可能



The screenshot displays the DATA4CITIZEN web interface. At the top, the logo "DATA4CITIZEN" is visible. Below it, there are five blue buttons for data export: CSV, Excel, PDF, ODF, and XHTML. A mouse cursor is hovering over the XHTML button. Below the buttons are two navigation buttons: "« 前へ" and "次へ »". The main content area features a table with five columns: ID, 属性値 (Attribute Value), 緯度 (Latitude), 経度 (Longitude), and 備考 (Remarks). The table lists five entries for waste stations and collection points in Aizu-Wakamatsu City.

ID	属性値	緯度	経度	備考
J-17-5	ゴミ集積所	37.47945371148 5384	139.9141931533 8135	
M-39-B	ゴミステーション	37.47895563500 438	139.9140349030 4947	
M-39-2	ゴミ集積所	37.47895563500 438	139.9141207337 3795	
M-39-3	ゴミステーション	37.47856185424 0034	139.9146249890 3275	
M-35-4	ゴミ集積所	37.47950266754	139.9194878339	

7-2 デモ(D4Cによるデータの表示・APIを利用した出力等)

会津若松市ごみステーション・集積所位置情報

- ・CSV, MS Excel, PDF, ODF, XHTML形式でデータの出力が可能
- ・さらに、API経由で機械可読な形式でデータ取得も可能

The screenshot shows a web interface with three tabs: 'リクエストURL', 'リクエストパラメータ', and 'レスポンス'. The 'レスポンス' tab is selected, showing a JSON response. Above the JSON, it states 'HTTP応答のBODYにJSON形式でレスポンスされます。' (The response is returned in JSON format in the body of the HTTP response).

```
{
  "result": "success",
  "limit": 50,
  "count": 1,
  "lastUpdate": "2014-03-30 15:27:54",
  "next": true,
  "offset": 0,
  "data": [
    {
      "point_id": "1",
      "category": "ゴミステーション",
      "lat": "37.488327",
      "lng": "139.929575",
      "memo": "備考"
    }
  ]
}
```

7-2 デモ(D4Cによるデータの表示・APIを利用した出力等)

会津若松市内放射線グラフ

- ・表形式だけでなく、グラフ形式や画像出力も可能

会津若松市内の放射線量測定結果

対象期間

2013/5/1

～

2014/5/31

グラフ形式

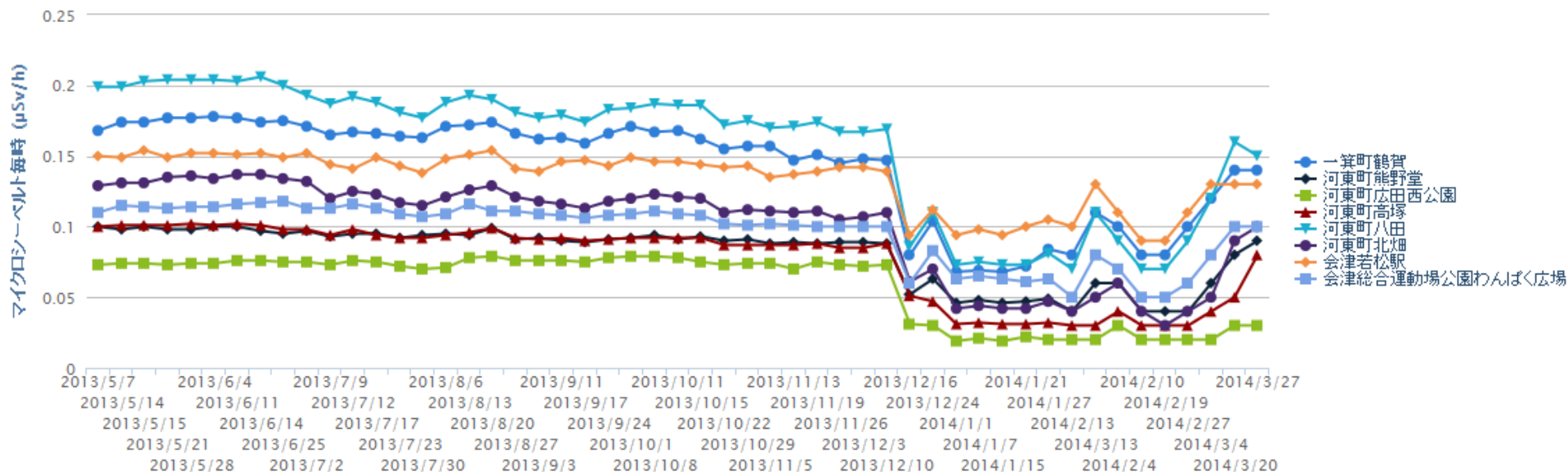
折れ線グラフ

検索

クリア

Radiation Data (Fixed-Point)

Source: 放射線測定記録表(会津若松市)



7-3 データを分析して得た示唆(例)

Data For Citizenに蓄積した公用車位置情報(GPS位置情報、加速度情報)と、警察より公開されている人身事故発生箇所情報とのマッシュアップを行うことで、「潜在的な事故発生ポイント」の検出ができた。



会津若松市
ICTプラットフォーム

オープンデータ
(公用車位置情報)



ビッグデータを活用した
アナリティクス



公表データ
(人身事故発生箇所情報)

複数の公用車が急ブレーキをかけたポイントと、事故発生箇所を突き合わせたところ、潜在的に事故が発生しやすいポイントを検出



一見見通しもよく、事故発生しにくいと思いがちな個所でも、対向車との出会い頭による危険回避(急ブレーキ)されていることがアナリティクスを通じて見えてきた。

7-4 アナリティクス人材育成(公共分野データの活用)

- 講座「IT日新館 ベンチャー体験工房」にて、オープンデータ「公用車位置データ」を活用した分析モデル構築を講義の題材として取り入れ、実習のインプットとして活用。

DATA FOR CITIZEN

オープンデータ

講義に使用するデータのひとつとして、公用車位置データを使用



オープンデータ、並びにオープンデータ周辺産業の活性化に不可欠となる、**行政・地域産業に対して提言できるアナリティクス人材を育成・排出することを目的に、**

会津大学でアクセンチュアが既に実施している**アナリティクス寄附講座に本システムが保有するオープンデータを提供し、**ビジネス領域のみならず、公共データに対する分析にも精通した“公共アナリティクス人材”の育成を実施。



会津大学

産学官連携による実践的なアナリティクス人材育成講座
「IT日新館 ベンチャー体験工房（アクセンチュア寄附講座）」

講義の中で行われたアナリティクス例

オープンデータと外部のデータソースをマッシュアップ

前後加速度と左右加速度が異様に急変している位置情報を抽出

会津若松市内で事故を起こしやすい場所を炙り出す

外部のデータソース

会津地域の
天気データ

交通事故
マップ

アナリティクス人材育成講座の講義風景



8 まとめ「ICT街づくり＝市民視点の街づくり」

現在(As-IS)



- 個人の各プロフィール情報などは各機関毎でバラバラに所有
- 利用者が能動的に情報を取得、サービスを楽しむ
- サービスが個別に提供される。

企業・行政中心

情報格差

業種毎サービス

将来 (To BE)



- 個人のプロフィール情報を利用者、地域で安全に所有
- 利用者のプロフィールに応じて最適な内容が自動でリコメンド、情報提供等される。
- サービス同士が連携して提供される。

市民・地域中心

平等な機会

業種横断
サービス

ご清聴ありがとうございました

福島県会津若松市

Gov

参 考 資 料

- 参考 1 福島県 7 地域
- 参考 2 アナリティクス人材とは
- 参考 3 会津若松市概況
- 参考 4 正のスパイラル型の実行
- 参考 5 地域活性化モデルケース提案に採択
- 参考 6 実施体制
- 参考 7 クラウド技術の活用

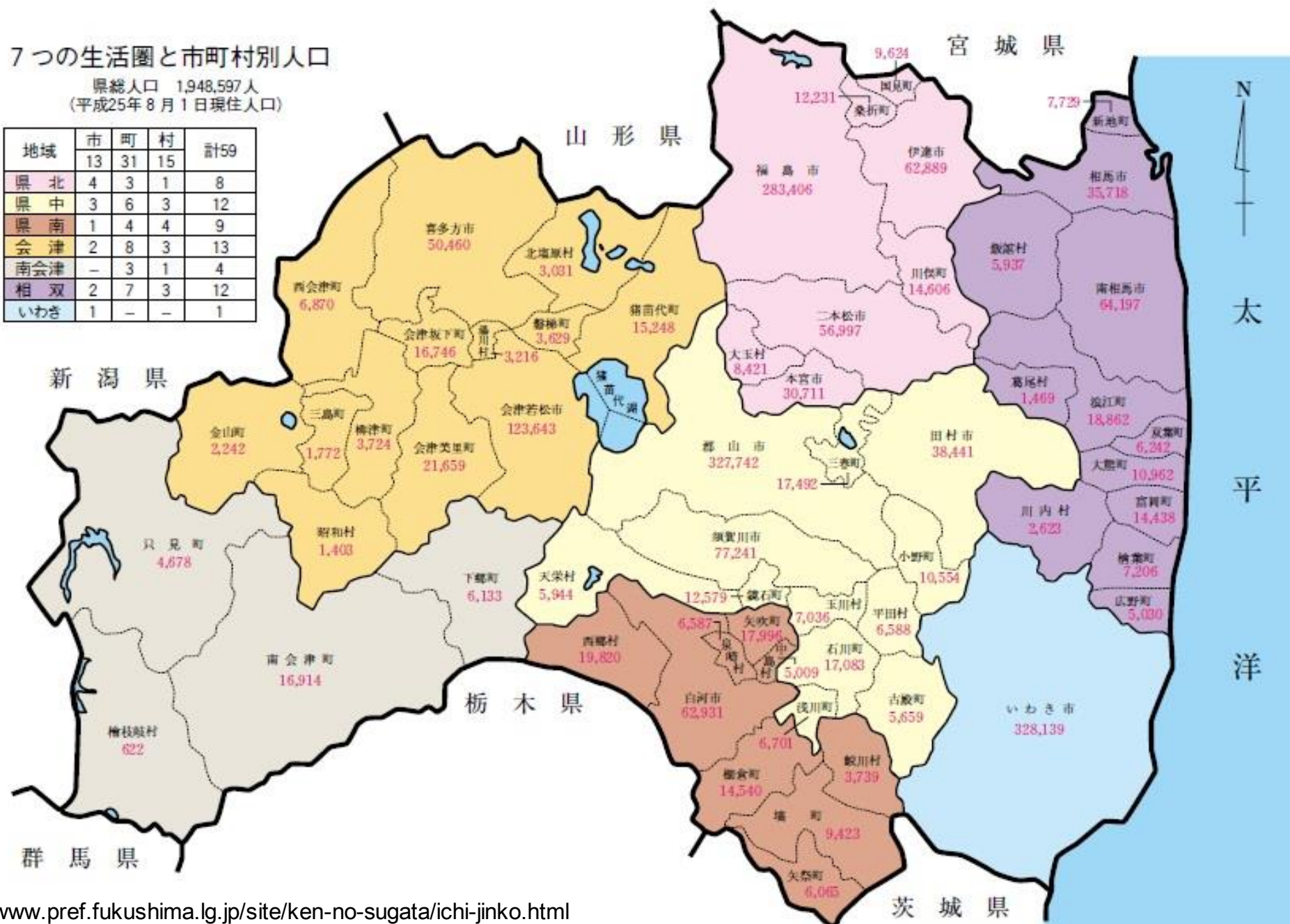
- 参考A 6/4 I C T街づくりサミット提出資料（ポスター）

参考 1 福島県 7 地域

7つの生活圏と市町村別人口

県総人口 1,948,597人
(平成25年 8月 1日現在人口)

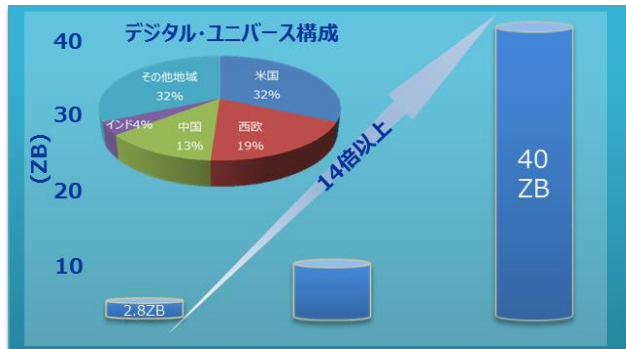
地域	市 13	町 31	村 15	計59
県北	4	3	1	8
県中	3	6	3	12
県南	1	4	4	9
会津	2	8	3	13
南会津	-	3	1	4
相双	2	7	3	12
いわき	1	-	-	1



参考2 「アナリティクス人材(データサイエンティスト)」とは

データ量の急増と、求められるビッグデータ活用

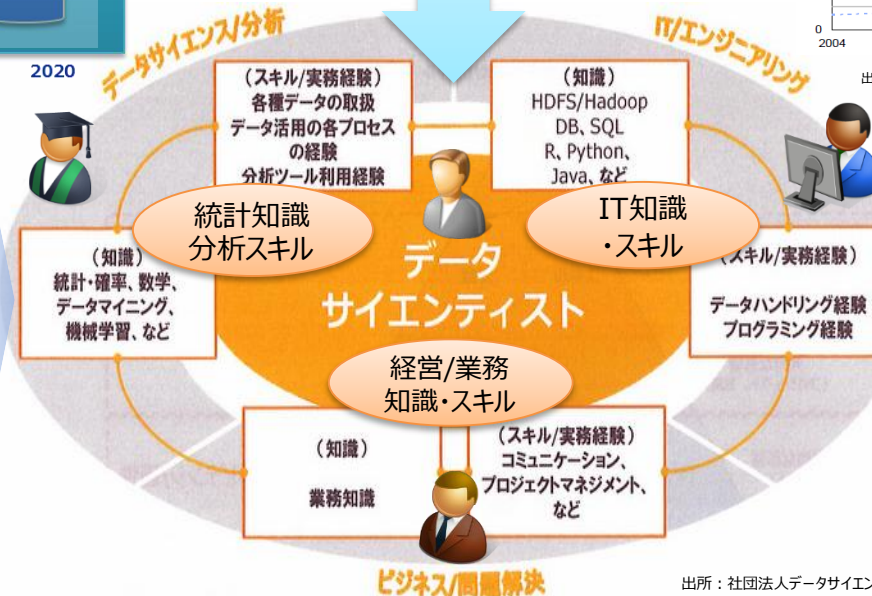
- 世界のデータ量は急激に増加、この膨大なデータ（ビッグデータ）を活用し、革新的なサービスやビジネスモデルの創出、的確な経営判断、あるいは業務の効率化を図ることが、各国、企業・組織の命題となっている



出所：IDC Digital Universe 2012より

ビッグデータ有効活用には、基軸となる**ビジネス視点**に加え、統計的根拠に基づいた**データ解析力**と、データソースの広がりを押さえる**技術・トレンド知識**まで幅広く必要

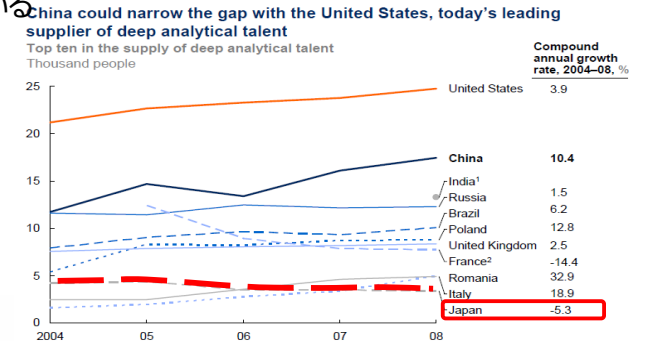
データ活用したイノベーション創出には
“データサイエンティスト”
育成・組織作りが必要



出所：社団法人データサイエンティスト協会資料をベースに作成

国内におけるデータ分析能力を有する人材の不足

- データ分析能力を有する人材供給は米国・中国をはじめ諸外国で増加。日本では他国と比較して低水準となっている。
- 201x年国内ではビッグデータ関連の雇用36万人見込みに対して、実際に雇用要件を満たせるのは11万人、25万人が不足すると予測されている。



出典：McKinsey Global Institute
「Big data : The next frontier for innovation , competition , and productivity」2011.5

データサイエンティストは、今後も各国で求められる人材。データ保有大国である日本の優位性を活かし、戦略的に人材育成、組織を構築していくことが必要。

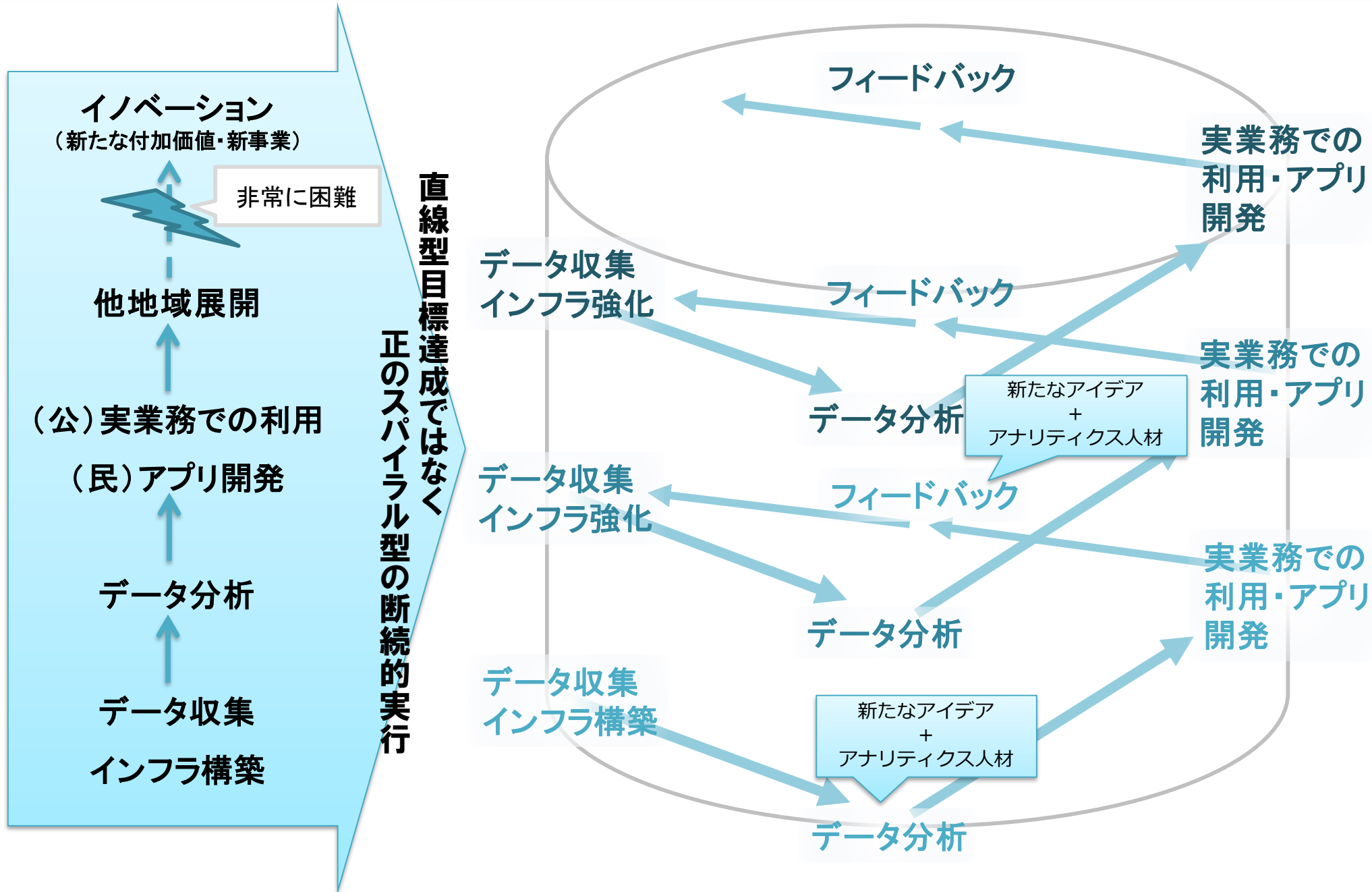
データサイエンティストとは

- ビジネスや社会上の問題に関して、データを通じて意思決定を行い、ビジネス・社会への成果/改善につなげることのできる人材（組織）
- これまで、各領域における専門家（コンサルタント、マーケター、データマイナー、統計家、エンジニアなど）は存在しているが、データサイエンス、IT、ビジネスの3領域をまたがり、高度な課題解決に展開できる人材や各専門家を横断的に活用する組織作りが求められる。

参考3 会津若松市の概況(実施20市町村と比較して)

ブロック	県名	市町村名	総人口	世帯数	面積	人口密度	生産年齢人口	65歳以上	高齢化率
北海道	北海道	北見市	122,618	61,287	1,427.56	85.9	75,335	33,601	27.2%
東北	宮城県	大崎市	135,272	49,470	796.76	169.8	84,111	33,675	24.8%
	福島県	会津若松市	122,930 ⑨	48,350 ⑩	383.03 ⑦	329.5 ⑨	75,401 ⑧	32,361 ⑨	26.0% ⑨
関東	群馬県	前橋市	340,123	141,724	311.64	1091.4	211,077	84,766	24.9%
	山梨県	市川三郷町	17,030	6,641	75.07	226.9	9,686	5,606	32.3%
北陸	富山県	富山市	419,941	170,127	1241.85	338.2	256,710	108,609	25.8%
	石川県	七尾市	56,654	22,198	318.09	178.1	33,294	17,791	30.9%
東海	三重県	玉城町	15,712	5,615	40.94	383.8	9,436	3,554	22.9%
近畿	大阪府	箕面市	132,191	56,706	47.84	2763.2	84,218	29,269	22.0%
	兵庫県	淡路市	46,631	19,877	184.28	253.0	26,323	15,417	32.6%
	奈良県	葛城市	36,904	13,739	33.73	1094.1	22,445	8,701	23.7%
中国	鳥取県	米子市	149,964	64,869	132.21	1134.3	90,971	37,661	25.1%
	岡山県	真庭市	48,875	17,879	828.43	59.0	26,905	16,525	33.3%
四国	愛媛県	松山市	517,711	242,027	429.06	1206.6	327,197	119,891	23.2%
	愛媛県	新居浜市	123,649	57,145	234.32	527.7	73,025	34,729	27.9%
九州	福岡県	糸島市	99,953	38,755	216.15	462.4	62,930	23,475	23.4%
	佐賀県	唐津市	128,070	50,042	487.48	262.7	76,263	34,029	26.3%
	佐賀県	武雄市	50,444	17,668	195.44	258.1	30,264	13,602	26.7%
沖縄	沖縄県	名護市	61,920	27,547	210.37	294.3	39,142	10,796	17.7%
	沖縄県	久米島町	8,329	3,932	63.5	131.2	2,763	976	11.6%

参考4 正のスパイラル型の実行



参考5 地域活性化モデルケースに本市提案が採択

内閣官房 地域活性化総合事務局 「地域活性化モデルケース」

「地域活性化の推進に関する関係閣僚会合」（平成26年1月設置）において決定された「成長戦略改訂に向けた地域活性化の取組みについて」に基づき、成長戦略の改訂に向け、都市・地域の構造や地域産業を総合的に改革する取組みを行うモデルケースを選定し、政府一体となった取組みを推進。

モデルケース応募総数135件、採択事業33件

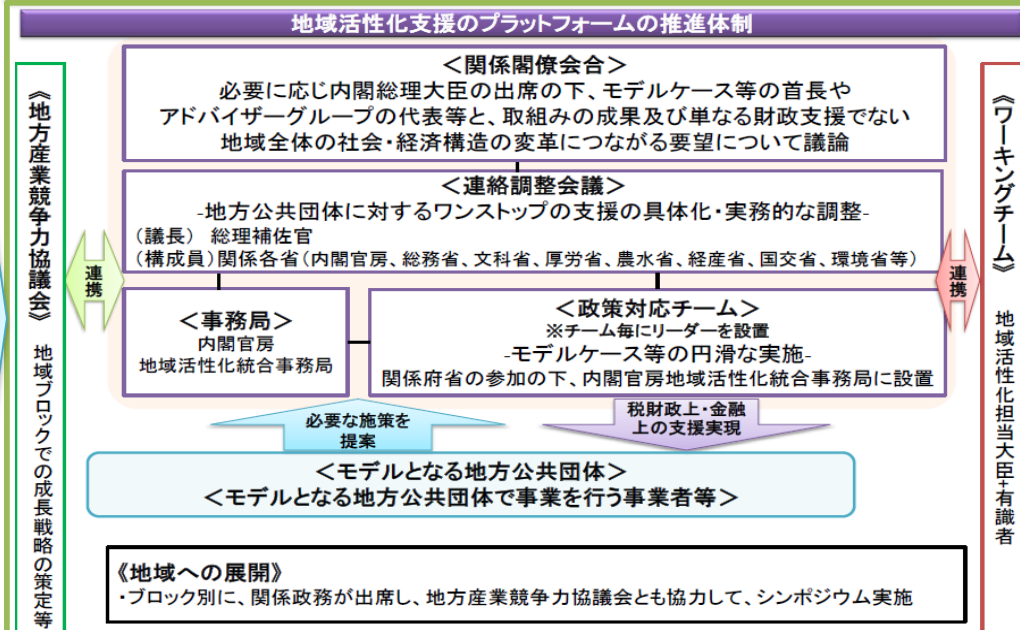
関係閣僚会合を設置し、政府一体で推進

本市提案 「ビッグデータ戦略活用のための アナリティクス拠点集積事業」

共同提案主体：公立大学法人会津大学、アクセント株式会社

- ビッグデータ活用に向けてあらゆる産業で必要となる「アナリティクス人材」の戦略的育成・集積を、産官学連携により推進。データ集積と人材育成により関連産業を含め「アナリティクスのメッカ」に。
- アナリティクス人材により地域の各産業の生産性向上・高付加価値化に取り組み、地域産業の再生・活性化を図る

地域活性化支援プラットフォームの推進体制



詳細: <http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tiiki/platform/index.html>

参考6 実施体制

提案主体

公立大学法人
会 津 大 学

会津若松市



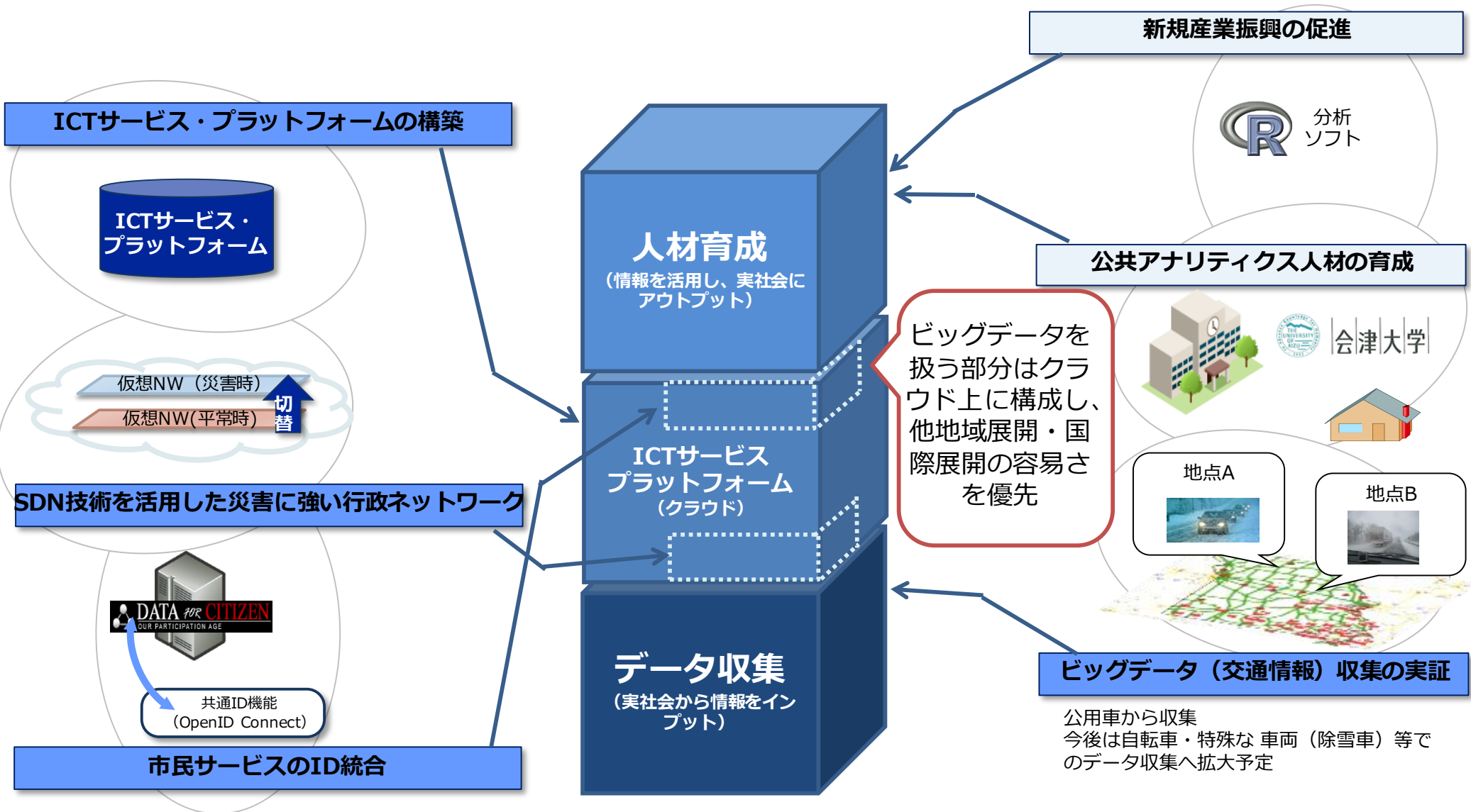
再委託先

アクセンチュア(株)
(株)シンク
富士通(株)

事業実施のため「実行委員会」を組織

会津若松市(CIO兼副市長、企画調整課長、総務部副参事)
公立大学法人会津大学
会津若松商工会議所
オブザーバーとして再委託先事業者(アクセンチュア、シンク、富士通)

参考 7 クラウド技術の活用（他地域展開に向けて）

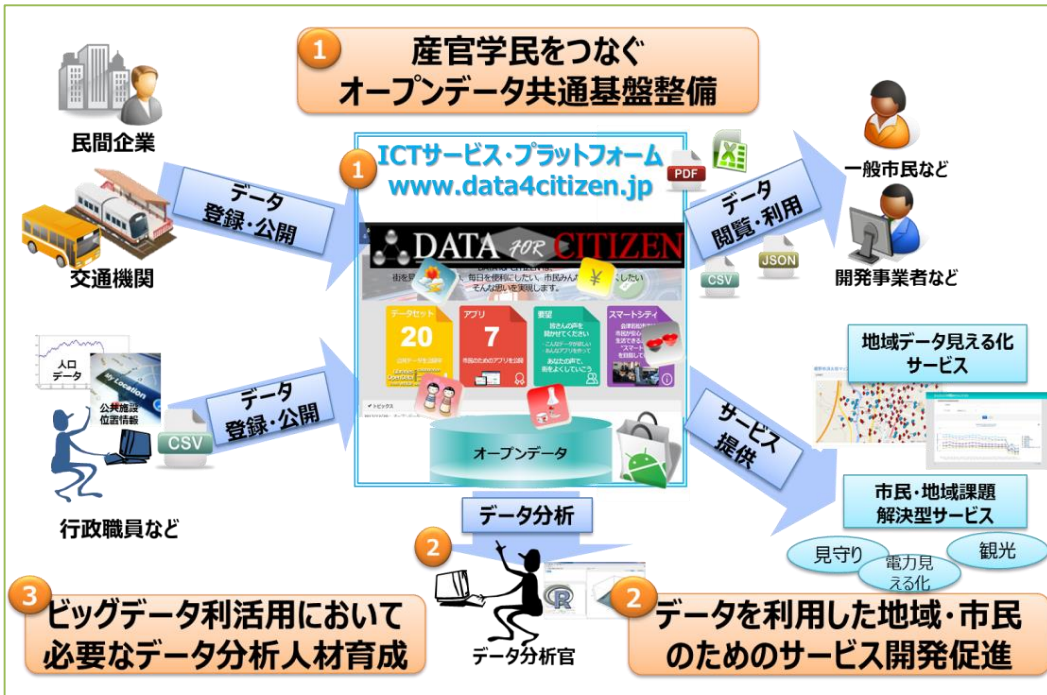


事業の背景・目的

- 会津若松市の特性：日本初のICT専門大学である会津大学、多数のICT関連ベンチャーの集積、ICTを活用した持続可能な街づくりを推進
- 東日本大震災からの復興：雇用・経済・エネルギー等の地域課題にICTの活用による貢献

⇒ICTに強い地域の素地を活かした、ICTサービス・プラットフォーム（オープンデータ共通基盤）をハブとした産学官公民の連携促進と地域の活性化

事業概要



- 産官学民をつなぐオープンデータ共通基盤整備**
単にデータを公開するだけでなく、市民、開発者の利便性を考慮したオープンデータ推進のためのICTサービス・プラットフォームを整備
- データを利用した地域主導での市民サービス開発**
・ 地域情報・データの見える化サービス
・ 市民・地域の課題解決型サービス など
行政職員も参加し、地域ベンチャー企業など地域主導で市民サービスを開発
- ビッグデータ利活用に必要なデータ分析人材育成**
会津大学と連携し、オープンデータやビッグデータから新たなサービス・発見を創出するデータ分析人材の育成を実施

事業の成果・課題

①データ登録から公開までの処理
業務時間が1/2～1/4程度に短縮

②行政データの積極的な公開
5ヶ月間で23のデータセット公開
(2014/5月時点)

③地域主導でのサービス開発
9つのサービスを開発提供
(2014/5月時点)

以前

ファイル形式毎に複数作成・管理。作業負荷大



事業後

一つのデータファイルの作成・管理だけでOK



Data for Citizen
トップ画面



公開データ一覧



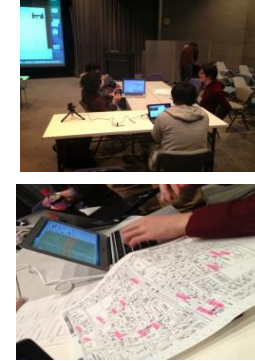
データの
見える化



河川水質調査データ

河川水質調査データアプリ

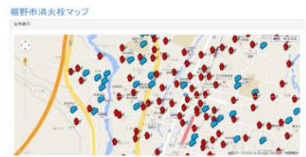
開発イベント風景



データからサービスへ



ゴミステーションMAP



消火栓位置情報MAP

単にデータを公開するだけでなく市民ニーズや地域課題に応じて公開していくことが重要。またデータ分析人材の育成が必要

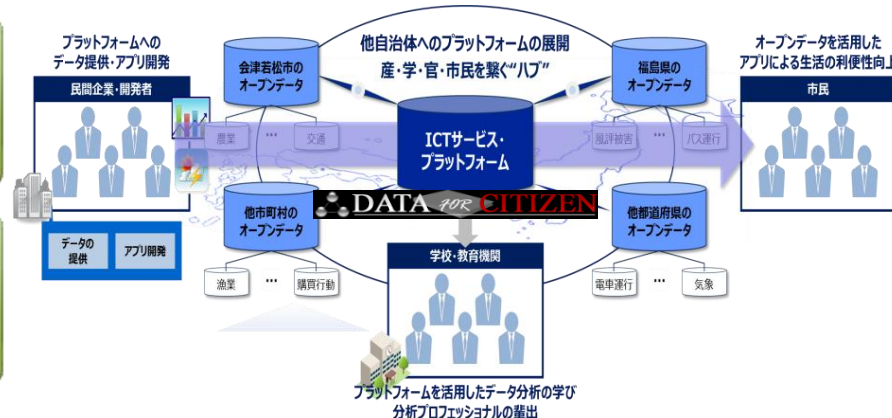
今後の展開

データに基づく街づくり
政策決定を推進

市民意見やニーズに基づき、多様なデータをオープン化し、産官学一体で、データに基づくICT街づくりを推進

市民起点のサービス創出

アプリケーションコンテストや、アイデアソンなどを通して、市民・利用
起点の
サービス創出を実施



他地域へのプラットフォームの展開

ICTサービス・プラットフォーム (Data for Citizen) を、
他地域にも提供し、日本におけるオープ
ンデータの普及の一端を担う

プラットフォームを活用し
アナリティクス人材育成

学術機関とも連携し、公務員も含め
データ分析人材の育成を図る